

ミカンは草でうまくなる

④
減肥にいい草、
害虫を抑える草、
年中緑で覆う草

和歌山・岩本 治

筆者とアークトセカ。
20cmほどの丈で3～11
月にタンポポのような
黄色い花が咲く。踏圧
に強くて丈夫（断りがな
い）かぎり赤松富仁撮影



夏も枯れずに生える草が
いい

先月号で紹介した自然に生える草に
引き続き、今回はタネや苗を購入して
植える草を紹介したいと思います。

これまでの草生栽培では、おもに春
に伸びる草が使われ、夏は枯れて敷草
状態になって他の草を抑えるというの
が常識でした。しかし、いろいろな草
を試していくと、夏も緑の草が生えて
いることが重要ではないかと思い始め
ました。ミカンの生育期に天敵の棲み
かを提供でき、土壌を含めた生物環境
がよくなるからです。そんな視点も踏
まえつつ、これまで試した草につい
て、私が感じている一長一短を紹介し
ます。

敷草になると滑りやすい
イネ科の草

最初に試したのはナギナタグサと

他の草を抑えるアレロパシー成分を
持っていますが、夏は枯れて夏草が生
えてしまうことが多くあります。ま
た、ミカンの樹に絡みつく量が半端で
はなく、それを引き下ろす作業が必要
です。

クローバはタネが安く手に入ります
が、普通に播くと生えてくる量はごく
わずかです。春秋の播種前にバーク
堆肥とタネを混ぜ合わせ、レーキでス
ジをつけてから30cm間隔でスジ播き
し、軽く土をかぶせるとしっかりと生え

減肥するならマメ科の草

空気中のチツソを固定する根粒菌と
共生するマメ科では、ヘアリーベッチ
(クサフジ)とクローバ(シロツメク
サ)を試しました。

ヘアリーベッチは反あたり10kg近く
チツソを供給できるので、減肥にはこ
れが一番。タネを播けば、肥料を与え
なくても増えていきます。春と秋によ
く伸び、とくに春は一面に広がって畑
を歩くのに苦労するほどです。

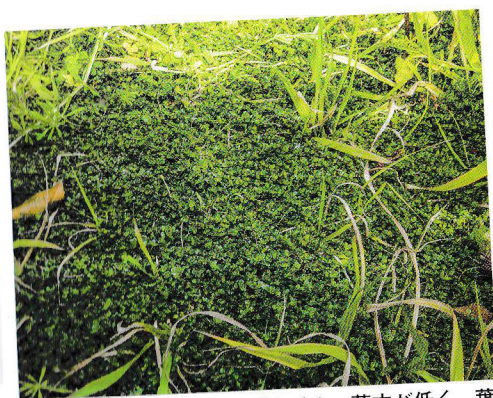
ルーツグラスです。フルーツグラスの
ほうが勢いよく長く伸びるので、草量
が多いと感じました。どちらともイネ科
で以下の特徴が共通しています。

秋にタネを播けば簡単に発芽し、春
から一気に伸び始めて6月に勝手に倒
れて枯れます。敷草状態になって地表
を覆うので夏草を抑え、秋にまた芽を
出します。夏草を抑えるにはいいので
すが、傾斜地で敷草の上を歩くと、と
にかく滑って転びやすい。高齢になる
とケガが怖いので、これが大きなデメ
リットです。タネがたくさんできて靴
に入るとチクチクするのも気になると
ころです。

また、定着するまでの3年ほどはタ
ネを何度か播く必要があります。施肥も多
めにしないといけません。極早生ミカ
ンでは着色も糖度もいい結果でした
が、高糖系では初夏にチツソ不足でミ
カンの葉が黄緑色になってしまいました。



3月下旬のヘアリーベッチ。ミカンの樹
に絡みつくと三角ホーで引き下ろす



クリーピングタイム。草丈が低く、葉
も小さい

土の免疫力を高め地力向上!

果樹・野菜・稲…

あらゆる作物に!



乳酸菌土壌改良剤の決定版!

ラクト・バチルス

土と人と環境にやさしい

- ①減肥・減農薬で低コスト農業の実現!
- ②土壌病害菌の生育を抑制!

総販売元・製造元

薩摩の農文化を世界へ

日本有機株式会社

〒899-8604

鹿児島県曽於市末吉町諏訪方 4122

TEL 0986-76-1091

FAX 0986-76-6554

<https://www.nihonyuki.jp/>



播種して3~4年後のダイカンドラの根。地表から20cmくらいに根がぎっしり集中していて、ミカンの樹が肥料分を吸えない(筆者撮影)

年中緑で一面を覆う草

キク科で南アメリカ原産のアークトセカはタネができず、苗を植えるといチゴのようにランナーで根を下ろしながら増えていきます。ほぼ一年中緑のまま、他の草が生えるのを抑えます。冬の低温や干ばつ状態が続くと地上部は枯れますが、気温が上がって雨が降ればすぐ復活します。梅雨前か秋雨の前半に株分けしながら増やしていく作業が必要です。

ダイカンドラ(ダイコンドラ)はタネで増やせます。レーキで畑の表面を

少し掘ってからタネを播き、軽く土をかぶせると、ほぼ通年緑のままで地面を覆ってくれます。ただ、3~4年経つと根の層が厚くなり養分競合するので、とくにミカンの苗木畑には不向きです。土手や法面など樹のない場所での利用がいかもしれません。

現在一番有望なのは、クマツヅラ科のヒメイワダレソウです。草丈も低く春から秋まで緑で覆ってくれます。詳しくは来月号で紹介します。

(和歌山県海南市)

香りで忌避効果、シソ科の草

シソ科のクリーピングタイムと斑入りカキドオシ(グレコマ)は、香りの害虫抑制効果に期待しています。クリーピングタイムはタネも苗もあります。タネを播くと生えてこないことが多いので、プランターで育てるか、苗を買って植えるのがいいです。草丈が低く、定着するとランナーで広がり、春と秋に株分けや挿し木で増やせます。斑入りカキドオシは、耐暑・耐寒性が強くほぼ一年中生えています。ランナーで広がっていくので手間がかかります。

売れる草、木陰でも生える草

畑一面を覆うほどの繁殖力がなくても、おもしろいと思っている草があります。一つは認知症の予防効果があるといわれているツボクサ。無農薬栽培ならこの草も販売できるのではないかと考え、草生栽培の新たな可能性のために試験しています。春と秋にタネや苗を植えるか株分けで増やします。ただ、増えるのはゆっくりで寒さには弱いので、関東以西が適地です。



いい香りがする斑入りカキドオシ。木陰でも生える



石垣に生えているヒメツルソバ。どこにでも生えて、ピンクのかわいい花が咲く

もう一つは木陰でもよく育つヒメツルソバ。タデ科でヒマラヤ原産です。ミカンの樹の下は草が生えにくい場所ですが、土壌改良のためには草を生やすことが重要だと考えています。道路や公園など、どこにでも生える強い草で春と秋に繁殖し、ゆっくり広がり、6~10月に少なくなってしまう、夏草を抑える効果はあまりありません。梅雨の前半か初夏に挿し木で増やせますが、タネができるので勝手に増えていきます。